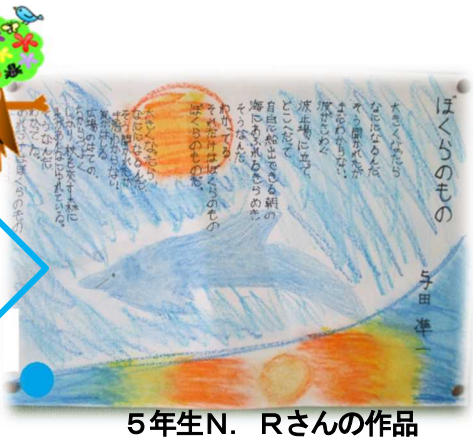
よく学び　心のふるさと　みずほだい

令和８年６月

みずだい通信　第３号

令和８年６月２４日　　瑞穂台小学校　河上 有美子



５年生N．Ｒさんの作品

仲間とともに 最高の思い出～６年生 修学旅行～

６月４日・５日、６年生が待ちに待った１泊２日の修学旅行に出かけました。

【１日目：鎌倉の歴史と文化に触れる】

初日は、鎌倉市を巡り、歴史ある寺社を見学して、日本の歴史や文化のすばらしさを学ぶことができました。小町通りや若宮大路では、友達とスイーツを頬張ったり、家族へのお土産を真剣に選んだりと、修学旅行ならではの楽しい時間を満喫することができました。

【２日目：横浜・八景島シーパラダイス】

２日目は、横浜八景島シーパラダイスを訪れました。広大な水族館で水にすむ生き物たちを観察したり、迫力あるイルカのショーを楽しんだりしました。また、たくさんの乗り物を友達と楽しみました。

２日間の旅行を通して、先生達や友達との絆がさらに深まり、すばらしい経験を積むことができました。歩いた数だけ思い出ができ、見て学び、友達と語って一回り優しく、たくましく成長することができました。この貴重な経験をこれからの学校生活にしっかりと活かしていってくれることでしょう。





偶然、谷黒前校長先生にお会いしました♪





ホテルでの食事風景





横浜 八景島シーパラダイス

一粒のお米の大切さを学ぶ ～５年生、田植えに挑戦！～







５月１４日、５年生が田植えを体験しました。田崎様の田んぼをお借りして、田崎様・渡辺様より稲の植え方をご指導いただきました。お米を育てる苦労やありがたみを学ぶ貴重な経験となりました。これから苗がどのように育っていくのか、しっかりと観察を続けながら成長を見ていきましょう。

朝会 R8. 6. 17

5月25日～6月12日 第1回 人権週間

５月は「いじめゼロ強調月間」、また、**５月２５日から６月１２日は校内人権週間**でした。「いじめゼロの、明るく思いやりと優しさでいっぱいの学校をつくること」を子どもたちに深く考えてもらうため、絵本**『わたしのいもうと』（松谷みよこ・文／味戸ケイコ・絵）**の読み聞かせを行いました。いじめ、悪ふざけ、いじわる、からかい、責める、攻撃、悪口、無視……これらがどれほど怖く、人を深く傷つけるものであるかを、子どもたちも感じてくれたようです。

もし周りでそのようなことが起きたとき、「やめなよ」「いじめはかっこ悪いよ」と言える人になろう、そしてそんな言葉を掛け合えるクラスをみんなでつくっていこう、と呼び掛けました。

瑞穂台小学校の子どもたちや教職員は、一人一人によいところがあり、誰もがかけがえのない大切な存在です。このように、誰もが幸せに生きる権利のことを「人権」と言います。これからも、一人一人の人権を互いに大切に守りながら、笑顔あふれる学校生活を送っていけるよう、全校で取り組んでまいります。





PTA 広報紙コンクール 優秀賞



この度、本校の PTA 広報紙が「令和７年度宇都宮市 PTA 連合会主催 広報紙コンクール」において、優秀賞を受賞しました。広報委員の皆様の熱意とアイディアが詰まった素晴らしい紙面が、このように表彰されるのは本当に嬉しいことですね。

ホタルの飼育 ５年生



５年生が６先生より引き継いだホタルの幼虫が成虫となりました。水質管理やエサやりに熱心に取り組んできた５年生。小さな命のバトンをしっかり受け継いでいます。

お知らせ

① 卒業準備委員会 活動休止について

卒業アルバムの代金が、コンビニや PayPay などを使い、各自で直接お支払いいただく形になったことに伴い、保護者の皆様の負担軽減も考えて、学校側と PTA の皆様とで委員会の仕事を見直したところ、すべて学校の方で対応できるという結論に至りました。

これまで卒業準備委員会として、子どもたちのためにご尽力いただいた皆様には、心より感謝申し上げます。活動の休止につきまして、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

② 体罰等に係る相談日について

体罰根絶のために、管理職が保護者様から直接話を伺う機会を設けることで、保護者様からの相談機会の充実を図るとともに、教職員による体罰や不適切な指導の根絶、指導力の向上を図り、信頼される学校づくりに努めます。

〔相談日〕
7月22日(水曜日)・23日(木曜日)
Tel:028-656-4645
希望する方は副校長までご連絡ください。

卵を温める親鳩

５月下旬から、体育館通路の天井付近に親鳩が巣を作り、卵を温め始めました。親鳩がじっと卵を温める姿は、言葉がなくとも「大切なものを守りたい」という強い気持ちが伝わってきて、胸を打たれるものがありました。人間と同じように、親が子供を思う無償の愛を感じました。

瑞穂台小の子供たちも、温かな気持ちで見守ってくれました。子供たちにとっても、命の尊さや親の愛情を肌で感じる、かけがえのない生きた道徳の授業になったのではないでしょうか。

☆その後，無事に巣立ちました…



けなげに卵を温める親鳩